

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

稲荷山医療福祉センターほっぷ

公表日

R7年 3月 31日

利用児童数

6人

回収数6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	1		①頂いたアドバイスを元を本人支援に取り入れている。 ②専門的な立場の方からアドバイスをもらえることはありがたい。 ③学校でもすぐに取り組みそうな事が多く参考になっている。	①②③今後も訪問先が取り入れやすい支援方法を提案するよう努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	1		①専門的な視点からアドバイスをもらえて勉強になる。	①引き続きリハビリスタッフによる丁寧な説明に努めます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	2		①困っている姿があった時、その場でアドバイスをもらいたい。 ②実際に本人の様子を見てもらっているので場面共有がしやすく話しやすい。	①ご意見をスタッフで共有し、リアルタイムにアドバイスができるよう検討します。 ②リハビリ時の様子も訪問先に共有し、共に支援を考えていきます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	2		①困りごとは軽減されたが、本人の姿に波がある。その様子も保護者に知ってほしい。	①ミーティングで訪問先が教えてくださった様子が保護者に伝わるよう努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	1			
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>①保育していく中で迷い事がありますが、ご相談させて頂くことにより適切な方法がわかり安心して保育することが出来た。</p> <p>②日中保育以外の長時間保育での対応に困り感が出ている。</p> <p>③個人的に対応すると集団生活は違いがあるため、そのあたりの保護者理解が難しい面がある。リハビリで行っている個別の支援と集団支援では支援方法が変わってくるので、すべての助言を生かすことは難しい。</p> <p>④「気軽に連絡してください」「困ったらその都度ご相談ください」と言ってもらい、相談するハードルが下がった。リハ見学と学校訪問の両方を行うことで、お互いの環境や児童のそれぞれの場の様子を理解することができ意味があると感じる。引き続きセンターと稲荷山養護学校が連携してよい支援を考えていければありがたい。</p> <p>⑤リハの様子も共有でき、本人のできる体の動きを中心に支援方法を提案してもらいありがたかった。本人が受け入れやすいメニューが組めた。進級すると支援員が個別対応できなくなるので、今後の活動の仕方について相談したい。</p>					<p>①訪問先の安心につながるよう、適切な助言に努めます。</p> <p>②長時間保育の時間帯の訪問も実施し、日中保育内ではわからなかった様子を観察し助言できるよう計画します。</p> <p>③リハビリで行っている支援を集団生活に生かせる形で具体的に提案できるよう、職員皆で研鑽に努めます。保護者に対して、面接やモニタリング時に各場面の課題について共有できるよう話し合いを重ねます。</p> <p>④稲荷山医療福祉センターとしても学校での様子を知ることが、有益だと感じています。今後も垣根を低く相談しやすいセンターを目指したいと思います。</p> <p>⑤PTが個別にメニューを作成しましたが、学校現場に即しているか不安がありました。今後は提案したメニューを学校でやりやすいようアレンジする方法も一緒に検討できたらと思います。クラス全員の活動に、本人がレベルを下げて参加する方法についても検討していきます。</p>	